



人権尊重教育推進校として

校長 伊藤 栄司

初夏の風に肌も汗ばむ季節となりました。今月、12日にはプール開きを行い、いよいよ暑い夏の到来です。本校のプールは冷暖房完備の全天候型なので、計画的に指導を進めることができます。一人一人が自分のめあてをしっかりとって取り組み泳力を伸ばすとともに健康の維持、増進も意識させたいと考えています。プールの施設開放も行いますので、保護者・地域の皆様もお時間のあるときに泳ぎに来てください。

人権教育について

東京都教育委員会では基本方針の最初に「人権尊重の精神」と「社会貢献の精神」を掲げています。方針には、全ての大人、子供たちが人権尊重の理念を正しく理解するとともに、思いやりの心や社会生活の基本的ルールを身に付け、社会に貢献しようとする精神を育むことが求められると書かれています。また、そのために、人権教育及び心の教育を充実するとともに、権利と義務、自由と責任についての認識を深め、公共心をもち自立した個人を育てる教育を推進する。」とあります。

本校でも人権教育は1番の目標として掲げ、子どもたちにもわかりやすく「明るく 強くたくましく 思いやりをもって 未来を創る人」の「思いやりをもって」の部分に人権感覚を醸成するとの願いを込めています。また、日々の学習の中でも全教科に渡って普遍的な人権への取り組み(伝え合うこと、豊かな情操、思いやり等、豊かな人間性を育む学習全て)を行っています。普段はあまり人権を意識しなくても大切にしている内容が多いので、改めて見直してみるとほとんどの授業が人権につながっていることが分かります。

2年間の研究

東京都では昭和57年から「人権尊重教育推進校」の事業を行っており、今回、指定を受け4区【千代田、中央、港、新宿】を代表してお茶の水小学校が2年間の研究に取り組むことになりました。日頃から大切に教えてきた内容への価値づけや年間指導計画の作成等を行います。また、個別的な課題(女性・子供・高齢者・障害者・同和問題・アイヌの人々・外国人・インターネットによる人権侵害等)を授業の中で扱い、「自分の大切さとともに他の人の大切さを認める」ことができる子どもを育てていきます。

研究の内容

人権感覚を醸成するためには「自分の行動を振り返る」ことが大切なのではないかとの仮説を立てました。よく考えてから行動するときも突発的に行動してしまうときでも大切なのは、振り返り正しい判断をしたかどうかを考えたことにつなげることです。授業の中では学習のまとめ(わかったこと)をするとともに、感じたことや考えたことを振り返るように工夫していきます。また、ユニバーサルデザイン※の考え方をとり入れ、だれもが楽しく学べる環境を整えていきます。さらに、幼稚園とも連携し人権感覚を醸成する環境整備(掲示物や飼育栽培等)についても充実させ幼小9年間の人権教育について整理していきます。「保護者の方と一緒に作る人権標語」の取り組みも行いますので、ご協力をよろしくお願いいたします。

しあわせ感じる世の中へ

東京都がこの事業に力を入れているのは、今日においても様々な人権課題があり、偏見や差別に苦しんでいる人が存在していることが背景にあります。また、国際化、情報化、少子高齢化等の進展に伴って新たな課題が生じ問題になっていることも関係しています。一人一人がしあわせを感じることができる、平和で豊かな社会を実現するために、私を含め教職員一同人権感覚を磨くとともに子どもたちの発達段階に応じた指導を行っていきたく考えています。ご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。

※ユニバーサルデザイン:年齢、性別、文化、障害の有無に関わらず、誰もが利用しやすいように設計・デザインする考え方